

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 施工にあたっては、錠の取付説明書も合わせて参照してください。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご確認ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋込柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破壊の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置決めしてください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- 各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締め付けしないでください。破損の原因となります。
- 施工完了後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。



引戸錠 HA 型の取付説明書 [ME-1746] を合わせて参照してください。

- ※この説明書内のイラストは、「右引き（道路側より見て）」・「外観図」で示しています。（「内観図」と指示のある場合を除きます。）
- ※「左引き（道路側より見て）」の場合は、左右対称に施工してください。

もくじ

梱包明細	2	3-3 レールの取付け	11
納まり図	3	3-4 柱・レールの埋込み	12
片引き	3	4. 引戸部品の取付け	13
両引き	4	4-1 落とし錠の取付け（※両引き・開き戸付きの場合）	13
開き戸付き	5	4-2 縦枠キャップ（下部）の取付け	13
引き違い	6	4-3 戸車の取付け	13
1. 柱部品の取付け	7	4-4 上枠ストッパーの取付け	13
1-1 ガイド柱部品の取付け	7	5. 引戸・開き戸の設置	14
1-2 戸当り柱部品の取付け（※片引き・引き違いの場合）	7	5-1 引戸の設置	14
1-3 吊元柱部品の取付け（※開き戸付きの場合）	7	5-2 開き戸の設置（※開き戸付きの場合）	14
2. 柱の設置位置の確認	8	6. 引戸取付後の作業と調整	15
2-1 片引きの場合	8	6-1 戸当り・錠受けの取付け	15
2-2 両引きの場合	8	6-2 錠の取付け	15
2-3 開き戸付きの場合	9	6-3 ガイドローラーの調整	16
2-4 引き違いの場合	9	6-4 自走防止金具の取付け	16
3. 柱・レールの設置	10	6-5 戸車と扉浮き止めストッパーの調整	16
3-1 レールの連結	10	6-6 落とし受けツボの埋込み（※両引き・開き戸付きの場合）	16
3-2 レールアンカー・ガイド柱用固定板の取付け	10	施工工事店様、販売店様へのお願い	16

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。
- 錠は、別途取付説明書を確認してください。

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称	梱包内容	備考	
引戸	引戸本体 (1)・縦框キャップセット (1)	両引き・引き違いの場合、2セット	
開き戸	開き戸本体 (1)・縦框キャップセット (1)・落とし受ツボ (1)	開き戸付きの場合のみ	
戸車	戸車 (2)・取付ボルトセット (1)・抜け止めストッパー (1)・自走防止部品 (1)	両引き・引き違いの場合、2セット	
門柱	片引き	戸当り柱(1)・ガイド柱(1)・ガイドローラーセット(1)・取付説明書 [ME-1744] (※ 1)	
	両引き	ガイド柱 (2)・ガイドローラーセット (1)・取付説明書 [ME-1744] (※ 1)	
	引き違い	戸当り柱(2)・ガイド柱(1)・ガイドローラーセット(1)・取付説明書 [ME-1744] (※ 1)	
	開き戸付き	吊元柱 (1)・ヒンジセット (1)・ガイド柱 (1)・ガイドローラーセット (1)・取付説明書 [ME-1744] (※ 1)	
戸当り	片引き/引き違い	戸当り (1)・部品セット (1)	引き違いの場合、2セット
	両引き	戸当り (1)・部品セット (1)・落とし錠セット (1)	
	開き戸付き	戸当り (1)・部品セット (1)・落とし錠セット (1)	
ステンレス レール (スチール レール)	本体巾：15～17	レール [L=2750] (1)	両引き・引き違いの場合、 2セット
	本体巾：20～22	レール [L=1875] (2)	
	本体巾：24～26	レール [L=2375] (2)	
	本体巾：27～30	レール [L=2675] (2)	
	本体巾：33～36	レール [L=3175] (2)	

※取付説明書は、下記セット部品の「ガイドローラーセット」に同梱されています。

セット部品明細

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称	梱包内容	
縦框キャップ セット	引戸用	縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・取付説明書 [ME-1600]
	引戸横格子用	縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・下部戸車用スペーサー (2)・取付説明書 [ME-1600]
	開き戸用	縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・落とし受ツボ (梱包明細と同一品)・取付説明書 [ME-1600]
ガイドローラー セット	片引き	門柱キャップ (1)・戸当り門柱キャップ大・小 (各1)・φ4×10トラスタッピン3種 (4)・アンカー棒 (1)・L型アンカー (1)・φ4×10トラスタッピン3種 (1)・ガイド (1)・φ4×30ナベタッピン2種ツイストネジ (4)・ガイド柱用レール固定板 (1)・戸当り柱用レール固定板 (1)・φ4×16トラスタッピン3種 (4)・扉浮き止めストッパー (2)・レールジョイント金具 (1)・M4×10トラス小ネジ (4)・アンカー (3)
	両引き	門柱キャップ (2)・φ4×10トラスタッピン3種 (4)・アンカー棒 (2)・ガイド (2)・φ4×30ナベタッピン2種ツイストネジ (8)・ガイド柱用レール固定板 (2)・φ4×16トラスタッピン3種 (4)・扉浮き止めストッパー (4)・レールジョイント金具 (2)・M4×10トラス小ネジ (8)・アンカー (8)
	引き違い	門柱キャップ (1)・戸当り門柱キャップ大・小 (各2)・φ4×10トラスタッピン3種 (6)・アンカー棒 (1)・L型アンカー (2)・φ4×10トラスタッピン3種 (2)・引き違い用ガイド (1)・φ4×30ナベタッピン2種ツイストネジ (4)・引き違いガイド柱用レール固定板 (1)・戸当り柱用レール固定板 (2)・φ4×16トラスタッピン3種 (6)・扉浮き止めストッパー (4)・引き違い用レール固定ブラケット (2)・レールジョイント金具 (2)・M4×10トラス小ネジ (8)・アンカー (2)
	開き戸付き	門柱キャップ (2)・φ4×10トラスタッピン3種 (4)・アンカー棒 (2)・ガイド (1)・φ4×30ナベタッピン2種ツイストネジ (4)・ガイド柱用レール固定板 (1)・φ4×16トラスタッピン3種 (2)・扉浮き止めストッパー (2)・レールジョイント金具 (1)・M4×10トラス小ネジ (4)・アンカー (4)
ヒンジセット	ヒンジ上部用 (1)・ヒンジ下部用 (1)・取付説明書 [ME-1324]・取扱説明書 [MET-1021]	
戸当り部品セット	戸当り固定裏板 (6)・M4×8トラス小ネジ (6)	
落とし錠セット	落とし錠本体 (1)・φ4×12トラスタッピン3種 (4)・落とし錠ガイド (1)・落とし受ツボ (1)・取付説明書 [ME-1156]	

勝手の確認

●施工前に確認してください。

●本説明書では、引戸の勝手を下記の通り示しています。

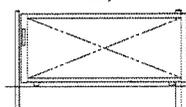


道路側より見て

- ・「右側」へ引き込む → 「右引き」
- ・「左側」へ引き込む → 「左引き」

右引き

引込み方向



ME1744-065-1

左引き

引込み方向



ME1744-064-1

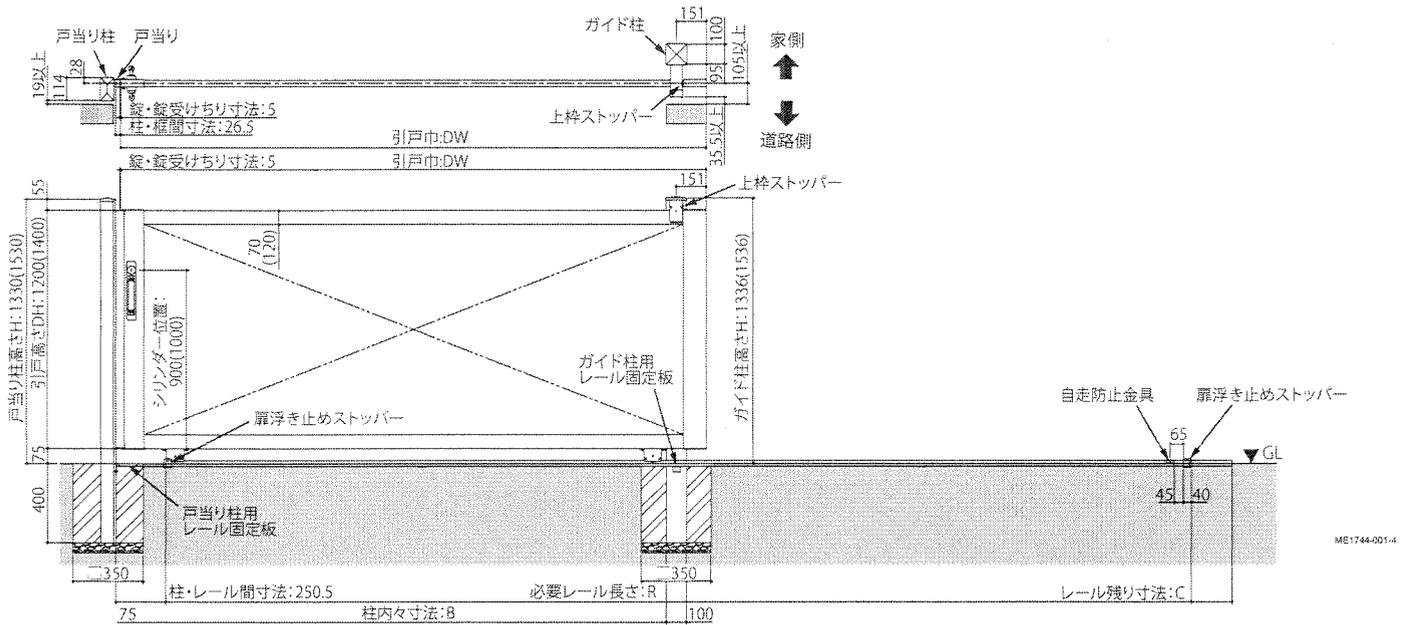
納まり図

- 施工前に必ず確認してください。
- 本図は、「右引き（道路側より見て）」・「外観図」です。

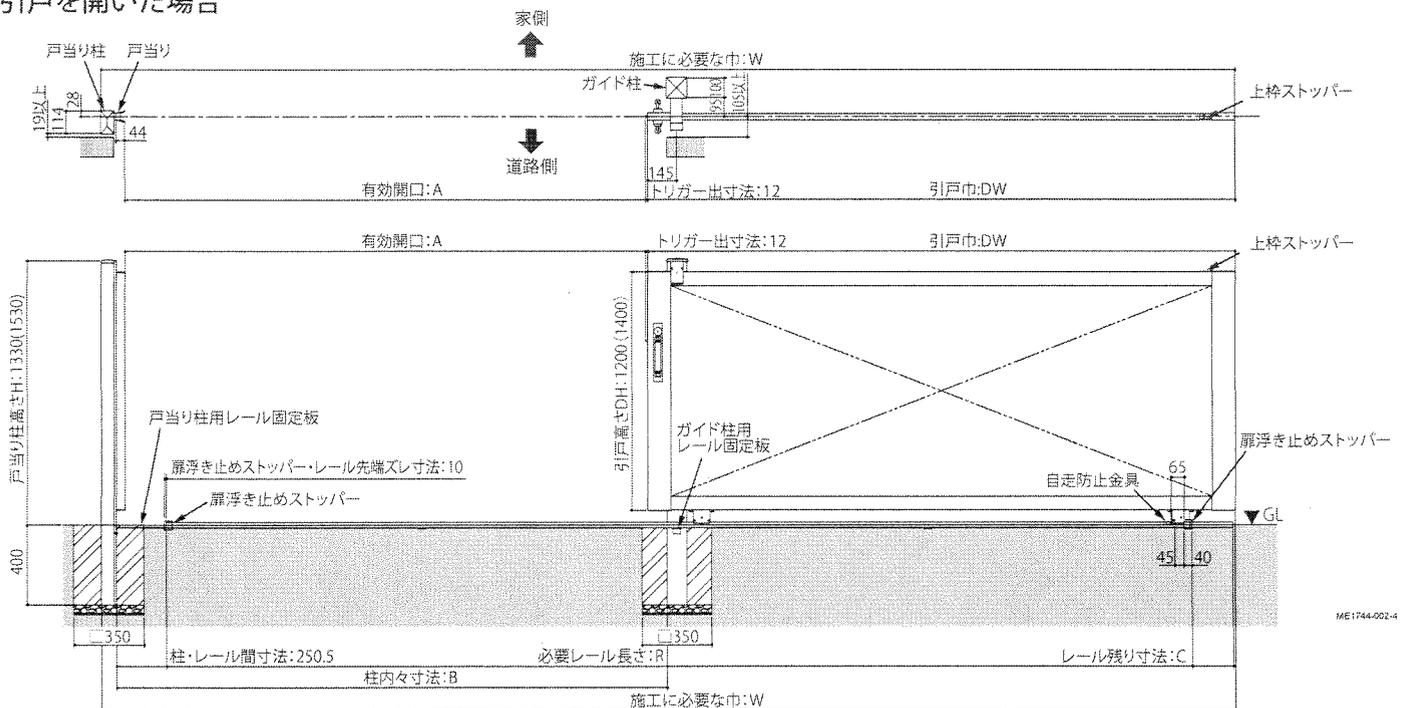
片引き

※本図は、DW=2940・H=1200の外観図です。
 ※（ ）内は、H=1400の場合を示しています。

●引戸を閉じた場合



●引戸を開いた場合



●納まり寸法表

(mm)

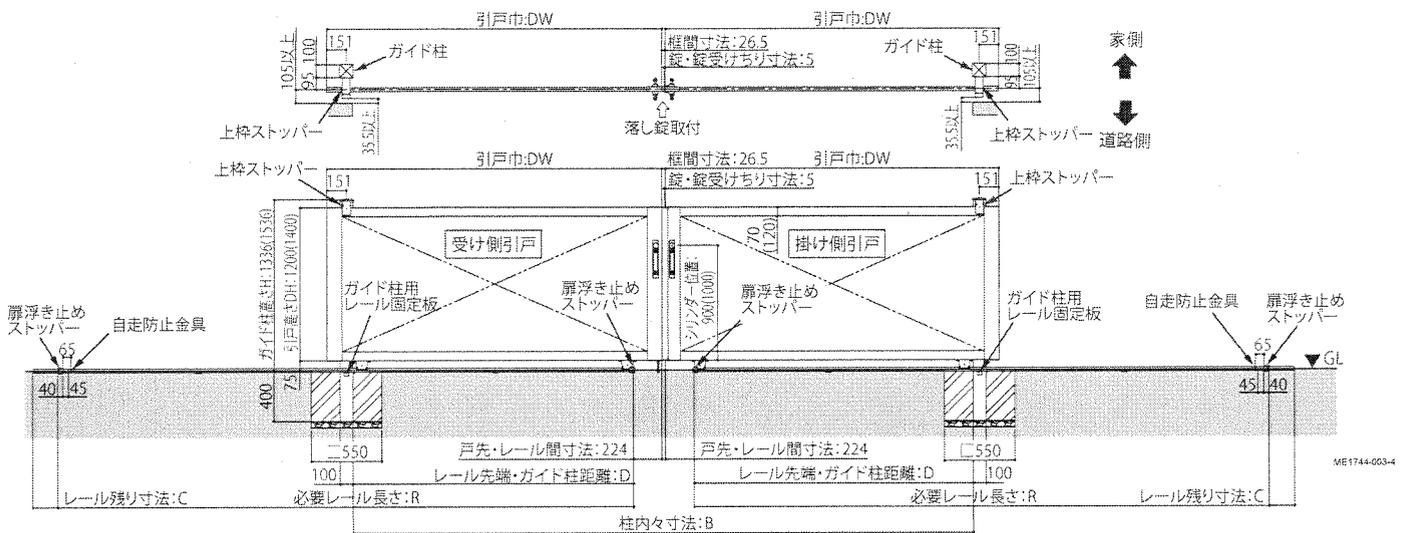
DW : 引戸巾	W : 施工に必要な巾 DW × 2-194	A : 有効開口 DW-326	B : 柱内々寸法 DW-174.5	R : 必要レール長さ DW × 2-734	C : レール残り寸法
1500	2806	1174	1325.5	2266	484
2020	3846	1694	1845.5	3306	444
2620	5046	2294	2445.5	4506	244
2940	5686	2614	2765.5	5146	204
3540	6886	3214	3365.5	6346	4

納まり図

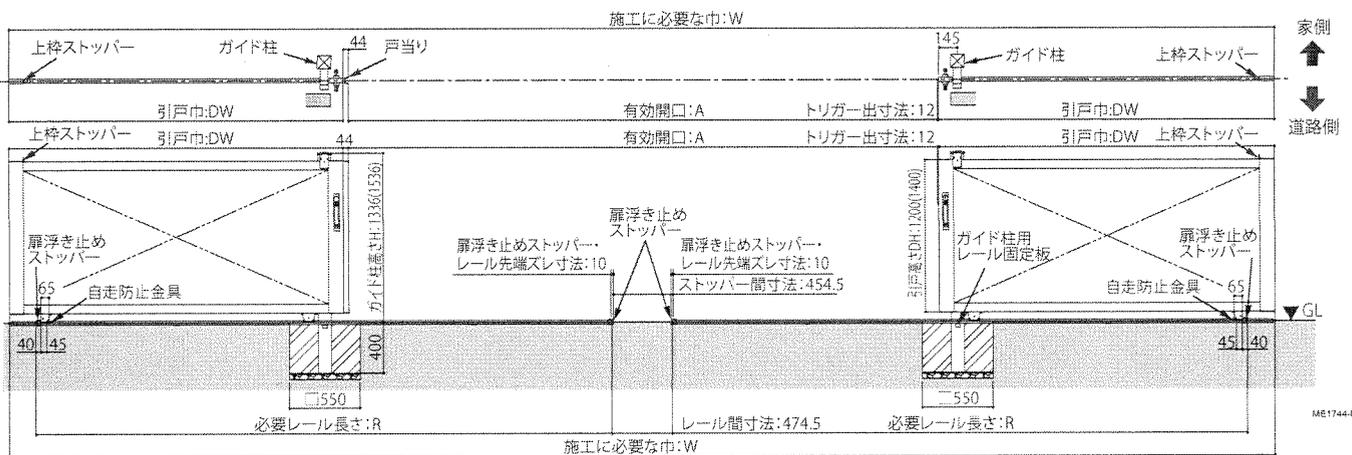
両引き

※本図は、DW=2620・H=1200の外観図です。
 ※（ ）内は、H=1400の場合を示しています。

●引戸を閉じた場合



●引戸を開いた場合



●納まり寸法表

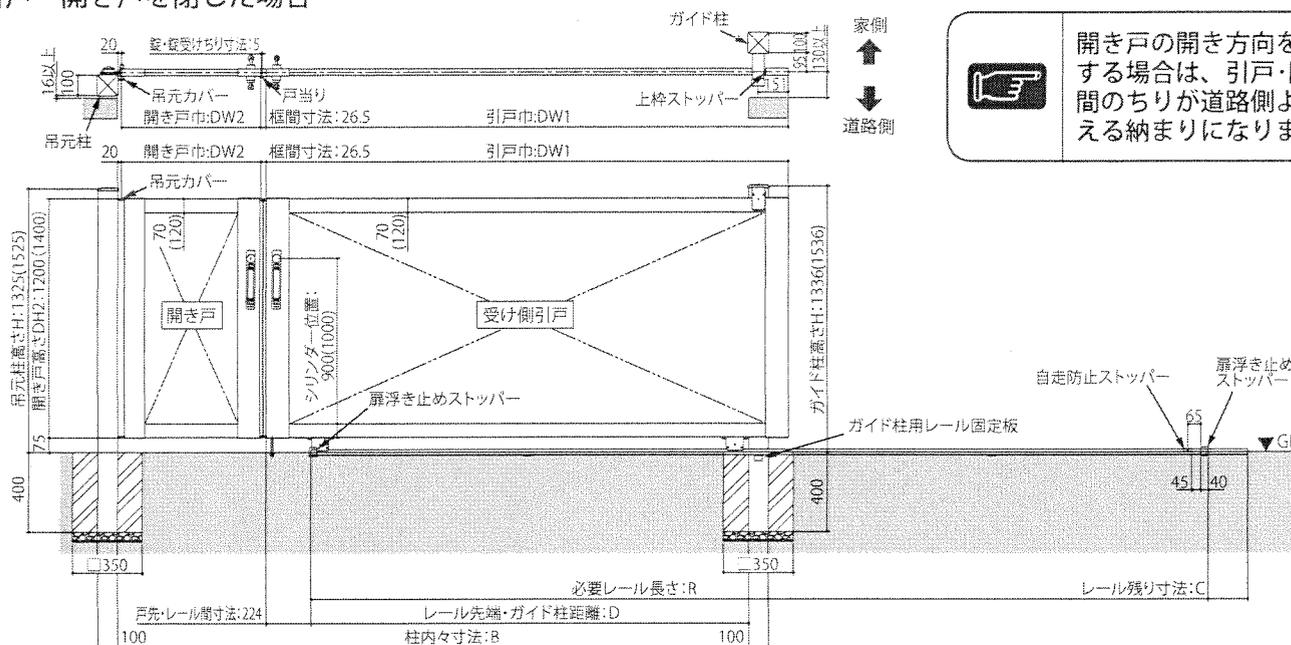
(mm)

DW: 引戸巾	W: 施工に必要な巾 DW × 4-565	A: 有効開口 DW × 2-622	B: 柱内々寸法 DW × 2-375.5	R: 必要レール長さ DW × 2-734	C: レール残り寸法
1500 × 2	5435	2378	2624.5	2266	484
2020 × 2	7515	3418	3664.5	3306	444
2620 × 2	9915	4618	4864.5	4506	244
2940 × 2	11195	5258	5504.5	5146	204
3540 × 2	13595	6458	6704.5	6346	4

開き戸付き

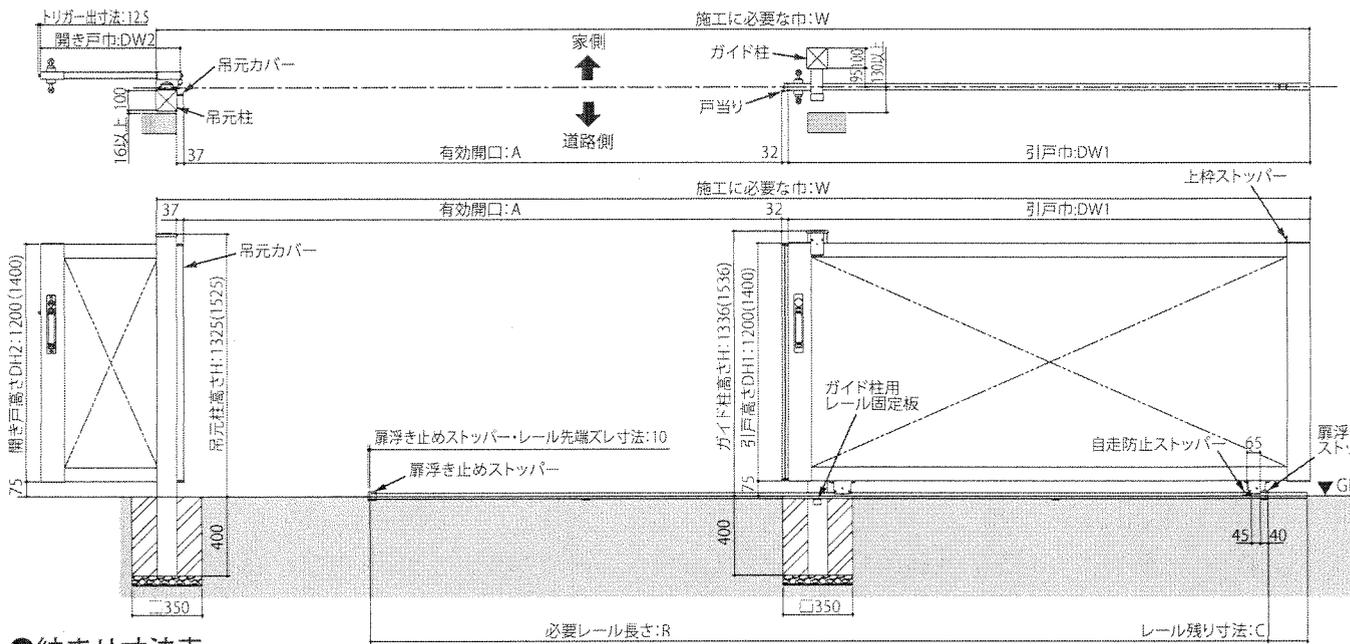
※本図は、DW1=2620・DW2=700・H=1200の外観図です。
 ※（ ）内は、H=1400の場合を示しています。

●引戸・開き戸を閉じた場合



開き戸の開き方向を逆に
 する場合は、引戸・開き戸
 間のちりが道路側より見
 える納まりになります。

●引戸・開き戸を開いた場合



●納まり寸法表

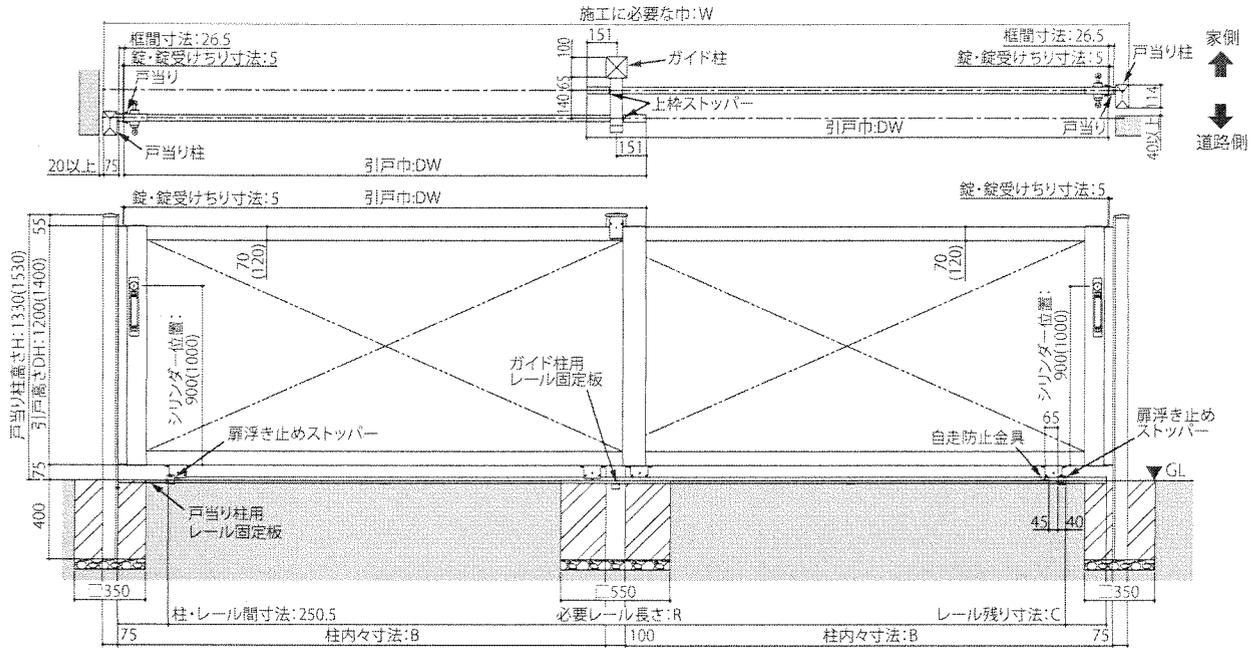
DW1+DW2 扉巾	W: 施工に必要な巾	A: 有効開口	B: 柱内々寸法	R: 必要レール長さ	C: レール残り寸法	D: レール先端⇄ ガイド柱距離
	DW1 × 2+DW2 -149	(DW1+DW2) -319	(DW1+DW2) -154.5	DW1 × 2-734		DW1-425
1500+700	3551	1881	2045.5	2266	484	1075
2020+700	4591	2401	2565.5	3306	444	1595
2620+700	5791	3001	3165.5	4506	244	2195
2940+700	6431	3321	3485.5	5146	204	2515
3540+700	7631	3921	4085.5	6346	4	3115
1500+800	3651	1981	2145.5	2266	484	1075
2020+800	4691	2501	2665.5	3306	444	1595
2620+800	5891	3101	3265.5	4506	244	2195
2940+800	6531	3421	3585.5	5146	204	2515
3540+800	7731	4021	4185.5	6346	4	3115

(mm)

引き違い

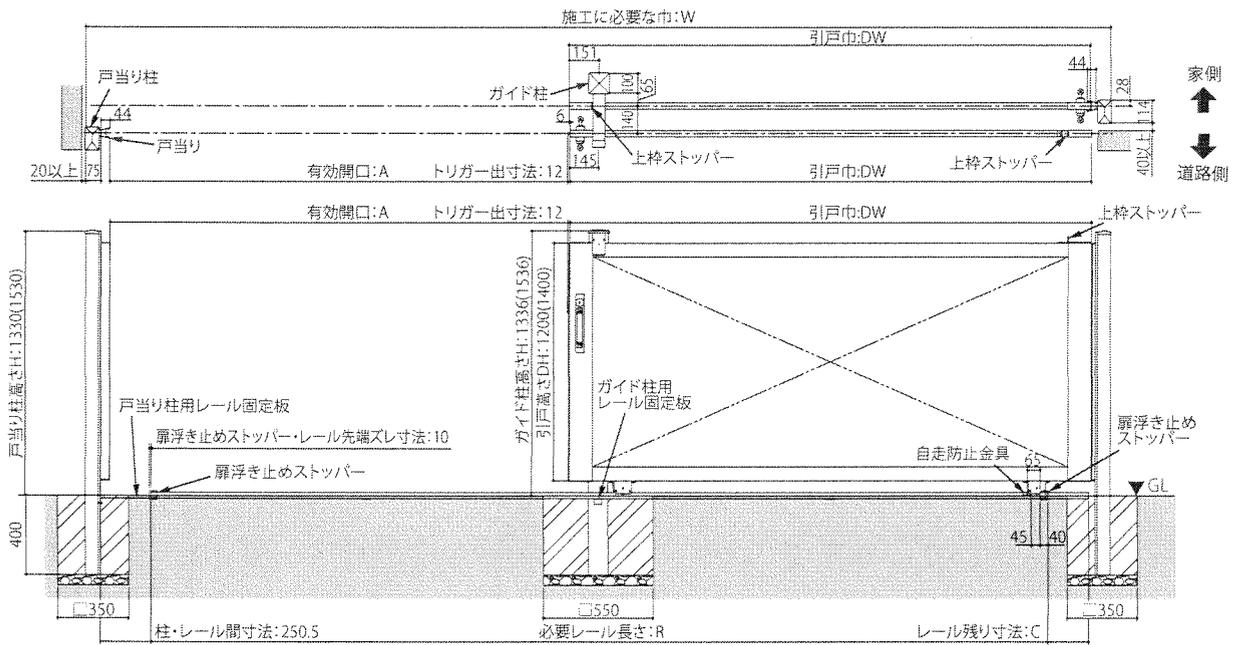
※本図は、DW=2620・H=1200の外観図です。
 ※（ ）内は、H=1400の場合を示しています。

●引戸を閉じた場合



ME1744-007-4

●引戸を開いた場合



ME1744-008-4

●納まり寸法表

(mm)

DW : 引戸巾	W : 施工に必要な巾 DW × 2-99	A : 有効開口 DW × 2-326	B : 柱内々寸法 DW-174.5	R : 必要レール長さ DW × 2-734	C : レール残り寸法
1500 × 2	2901	1174	1325.5	2266	484
2020 × 2	3941	1694	1845.5	3306	444
2620 × 2	5141	2294	2445.5	4506	244
2940 × 2	5781	2614	2765.5	5146	204
3540 × 2	6981	3214	3365.5	6346	4

1

柱部品の取付け

●「右引き(道路側より見て)」「外観図」のイラストで示しています。

1-1 ガイド柱部品の取付け

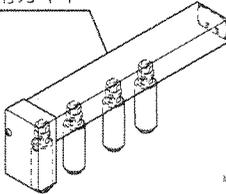
①ガイドをガイド柱に取付けてください。



引き違いの場合には、引き違い用ガイドを取付けてください。

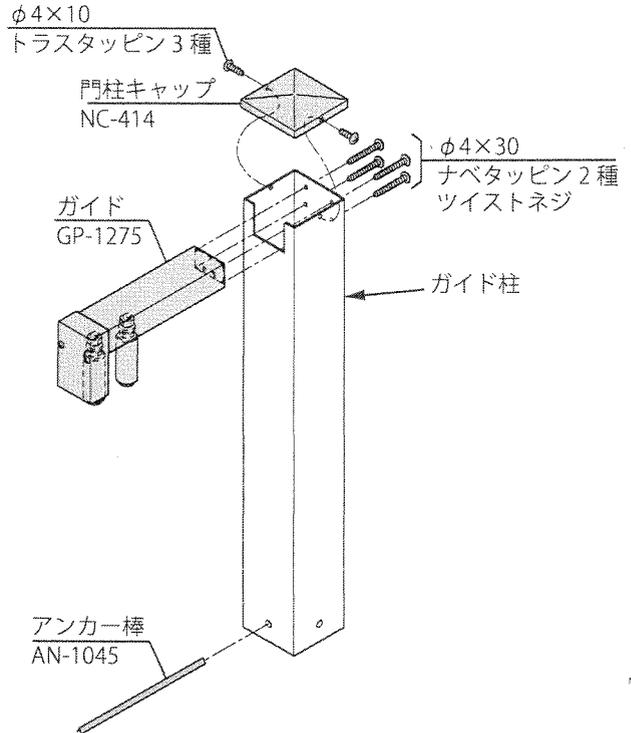
●引き違い用ガイド

引き違い用ガイド
GP-1262



ME1744-011

- ②門柱キャップをガイド柱に取付けてください。
- ③アンカー棒をガイド柱下部に差し込んでください。



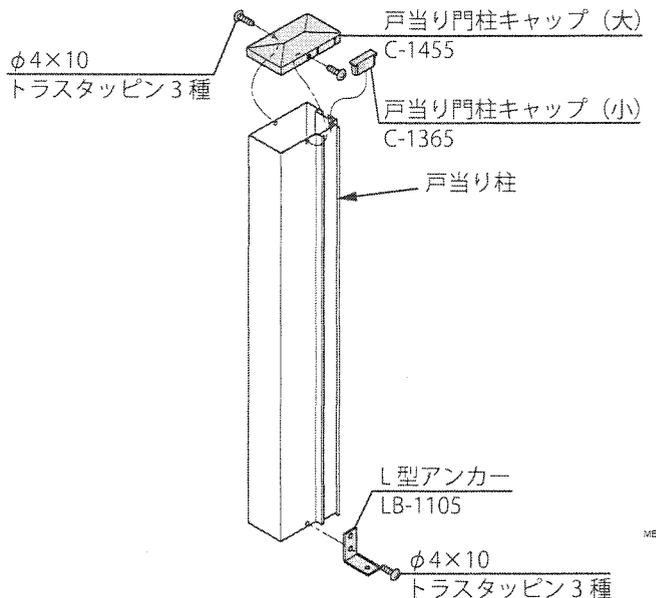
1-2 戸当り柱部品の取付け

(※片引き・引き違いの場合)



戸当り柱には上下がありません。引戸の勝手に合わせて上下を反転してください。

- ①戸当り門柱キャップ(大)を取付けてください。
- ②戸当り門柱キャップ(小)を戸当り門柱キャップ(大)の溝に挿入してください。
- ③L型アンカーを取付けてください。



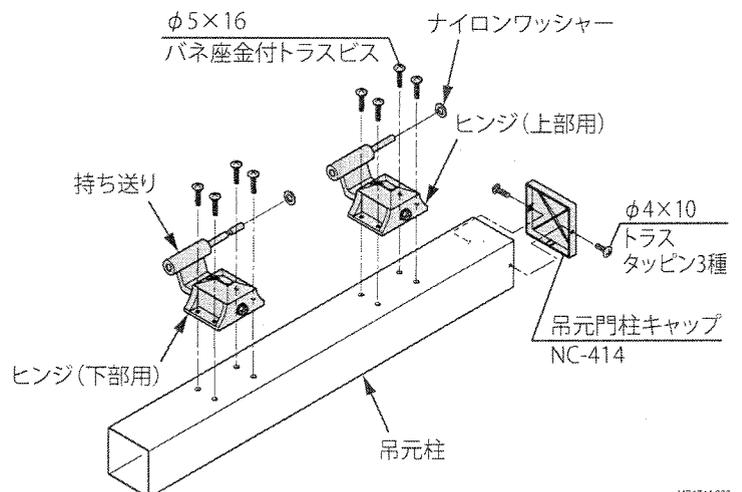
1-3 吊元柱部品の取付け

(※開き戸付きの場合)

- ①吊元柱と同梱の「ヒンジセット」内の取付説明書 [ME-1324] を参照して、門柱キャップ・ヒンジを吊元柱に取付けてください。



参照説明書
・形材門扉用門柱 片開き用
[ME-1324]



2

柱の設置位置の確認

- 「納まり図」で巾および高さ寸法を確認してください。
- ()内は、H=1400の場合を示しています。
- 柱のレベルを正確に合わせてください。
- 「右引き(道路側より見て)」「外観図」のイラストで示しています。

●「納まり図」と「納まり寸法表」を参照し、柱の設置位置を確認してください。

●柱の設置

! 柱のレベルを正確に合わせてください。



- 本章では柱の設置位置を確認してください。
- 柱の埋込みは、後工程の「3-4. 柱・レールの埋込み」でレールと同時に行います。
- GL表示スタンプを目安に埋込んでください。(埋込み寸法=400mm)



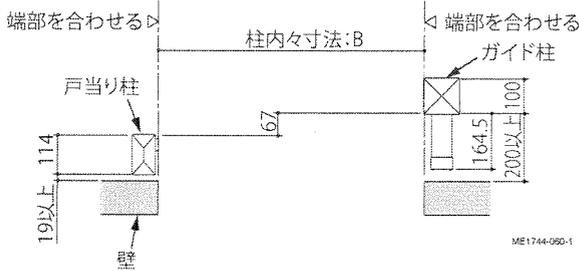
柱の埋込み時には、寸法を正確に合わせてください。

- ※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。
- ※壁との取合いが正確でないと、ハンドルと干渉するなど、開閉操作に支障がでる恐れがあります。

2-1 片引きの場合

引戸巾(DW)	柱内々寸法 (mm)
1500	1325.5
2020	1845.5
2620	2445.5
2940	2765.5
3540	3365.5

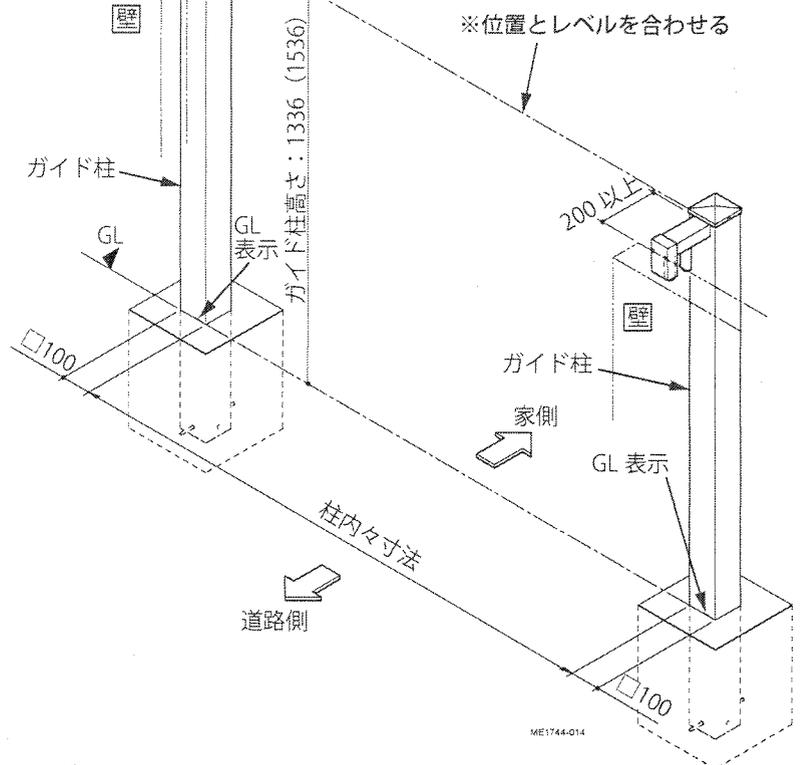
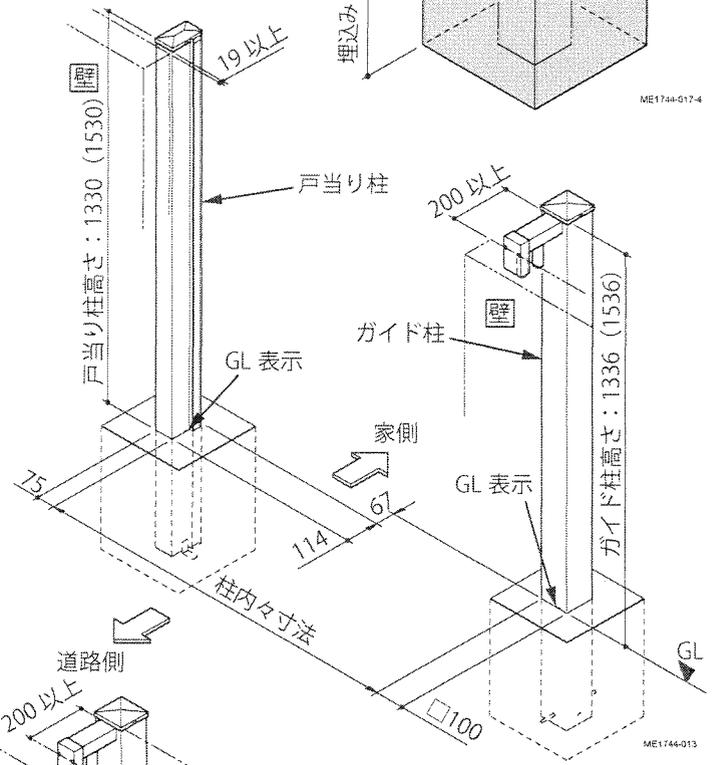
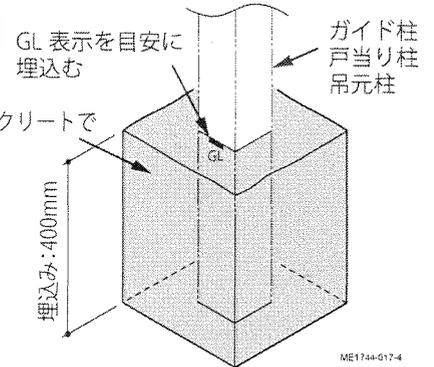
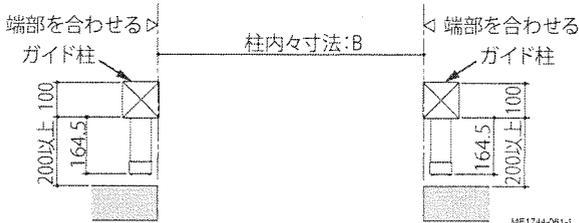
●設置寸法図



2-2 両引きの場合

引戸巾(DW)	柱内々寸法 (mm)
1500	2624.5
2020	3664.5
2620	4864.5
2940	5504.5
3540	6704.5

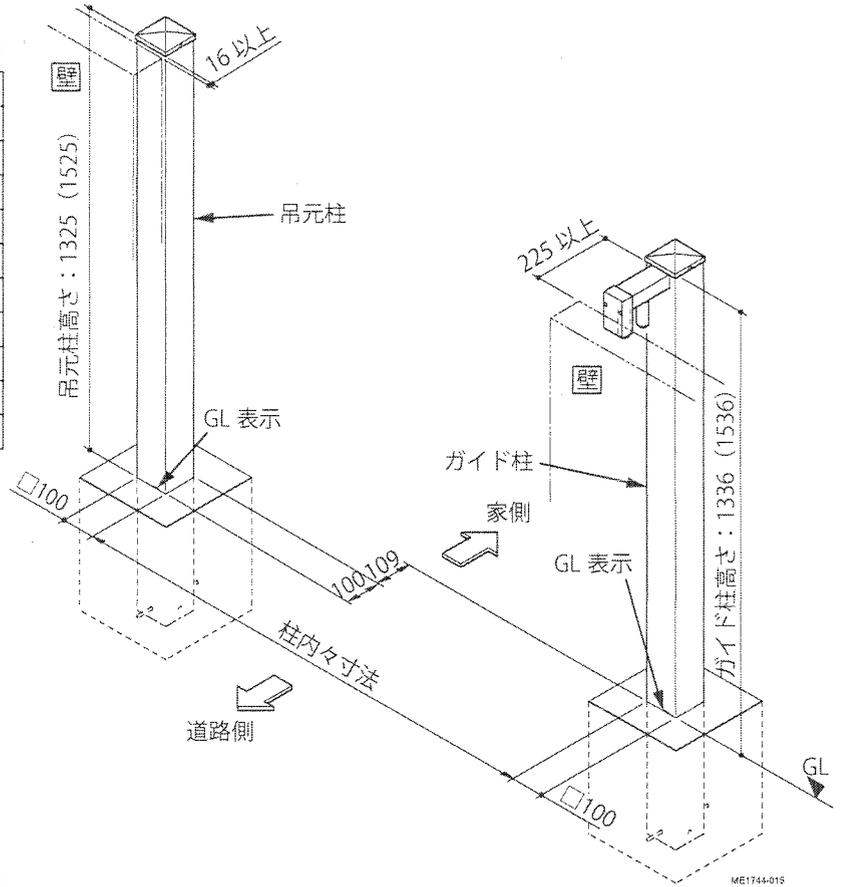
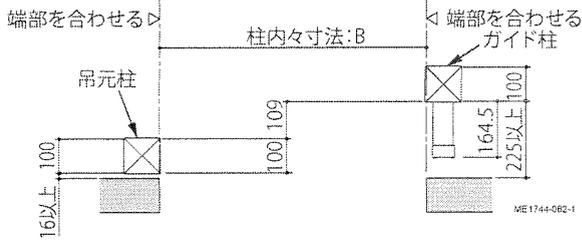
●設置寸法図



2-3 開き戸付きの場合

引戸巾 (DW1)	開き戸巾 (DW2)	柱内々寸法 (mm)
1500	700	2045.5
2020		2565.5
2620		3165.5
2940		3485.5
3540	800	4085.5
1500		2145.5
2020		2665.5
2620		3265.5
2940	3585.5	
3540	4185.5	

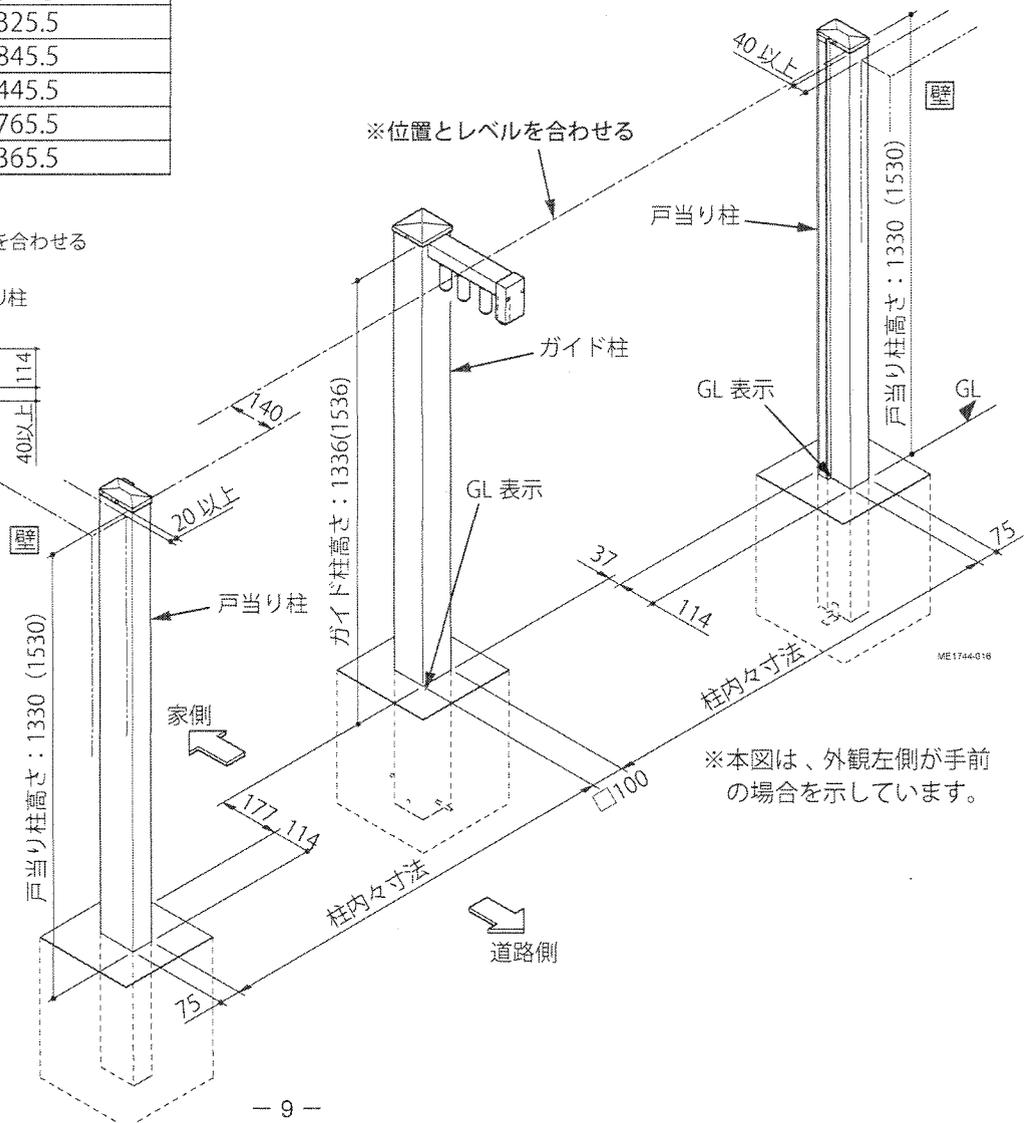
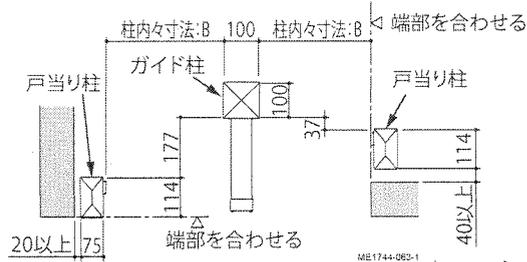
●設置寸法図



2-4 引き違いの場合

引戸巾 (DW)	柱内々寸法 (mm)
1500	1325.5
2020	1845.5
2620	2445.5
2940	2765.5
3540	3365.5

●設置寸法図



※本図は、外観左側が手前の場合を示しています。

3

柱・レールの設置

- 「納まり図」と「納まり寸法表」を参照し、必要なレールの長さを確認してください。
- 「右引き(道路側より見て)」「外観図」のイラストで示しています。

3-1 レールの連結



レールを連結する場合に作業を行ってください。

- ① 2本のレールをレールジョイント金具で連結してください。

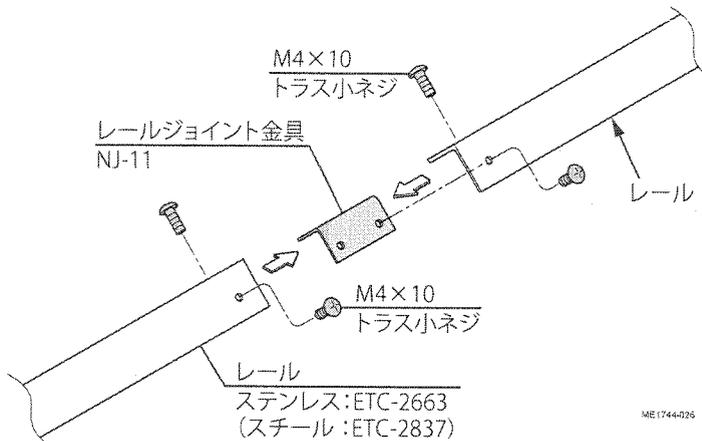
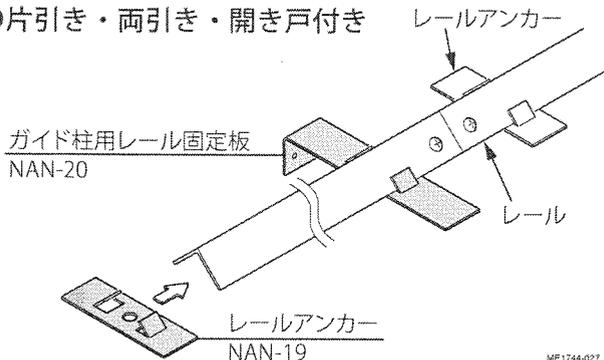
3-2 レールアンカー・ガイド柱用固定板の取付け

- ① レールアンカーおよびガイド柱用固定板を、レールに交互にスライドさせて取付けてください。

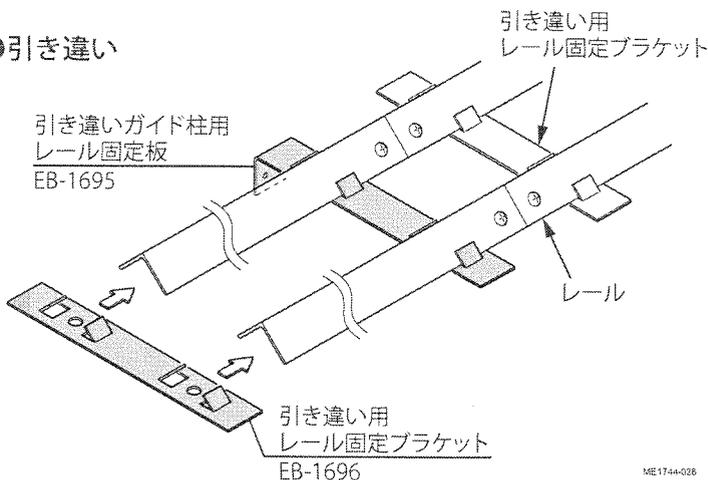


レールアンカーは、扉浮き止めストッパー⇄ガイド柱間に1つとなります。
※下記、「部品配置図」参照

●片引き・両引き・開き戸付き

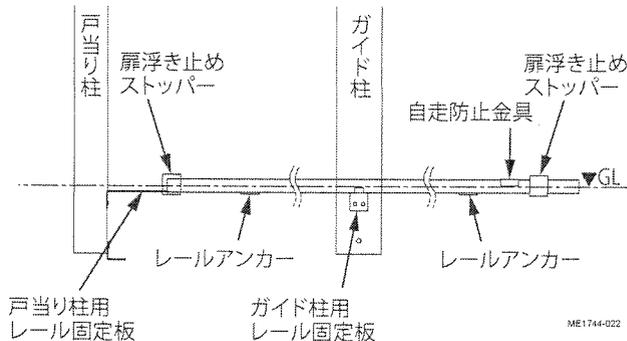


●引き違い

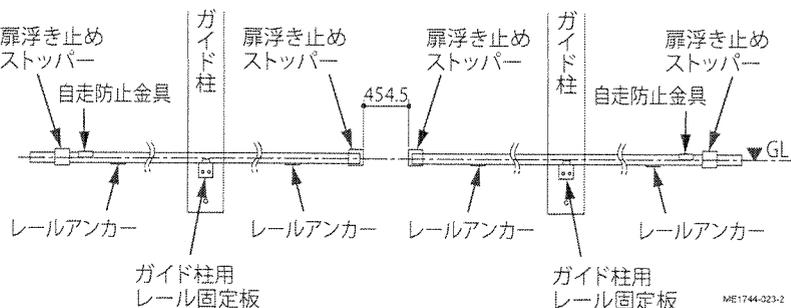


部品配置図

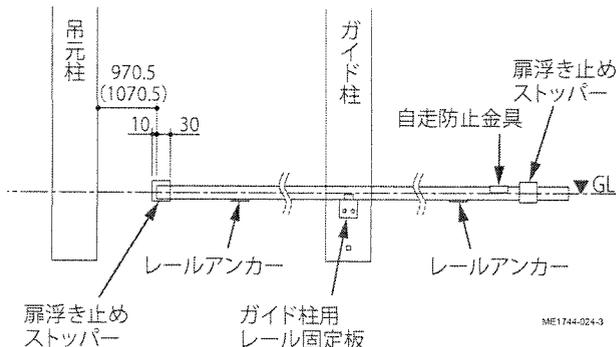
●片引き



●両引き

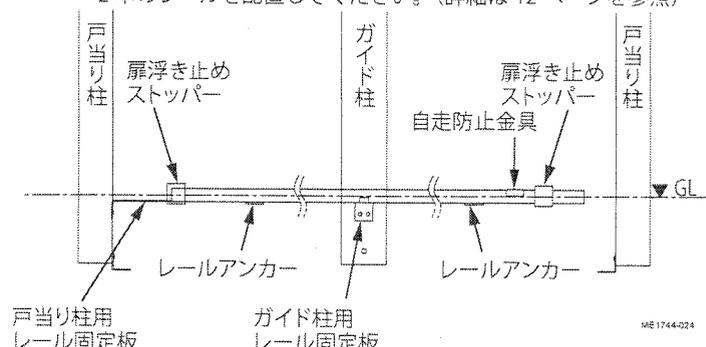


●開き戸付き



●引き違い

※本図は、片側のレールの部品配置を示しています。左右対称に2本のレールを配置してください。(詳細は12ページを参照)



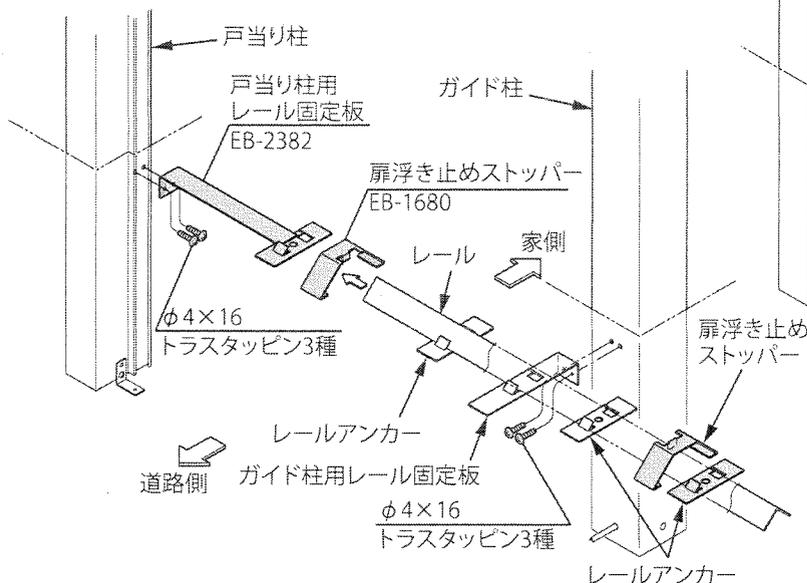
3-3 レールの取付け



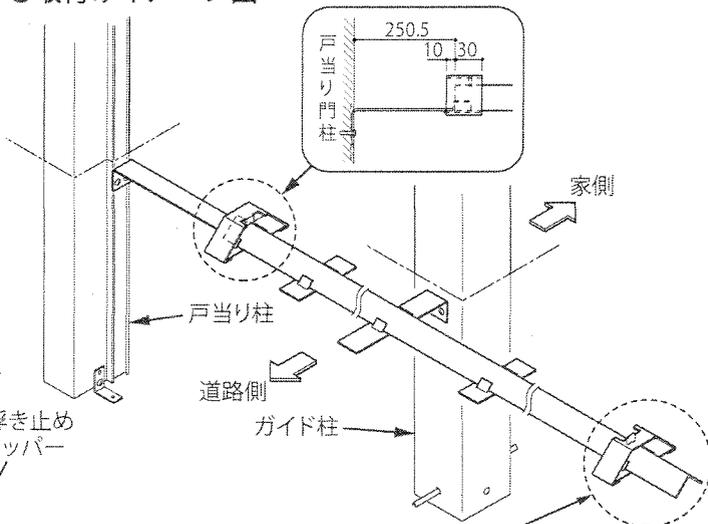
レール端部には必ず扉浮き止めストッパーを取付けてください。
 ※取付けないと、引戸の脱輪および転倒の原因になります。

片引きの場合

①下図を参照して、レールを柱に取付けてください。



●取付けイメージ図



引戸巾	レール残り寸法:C
1500	484
2020	444
2620	244
2940	204
3540	4

※レールの不要な部分は切断してください。
 ※扉浮き止めストッパーの取付位置は3ページの「納まり図」で確認してください。

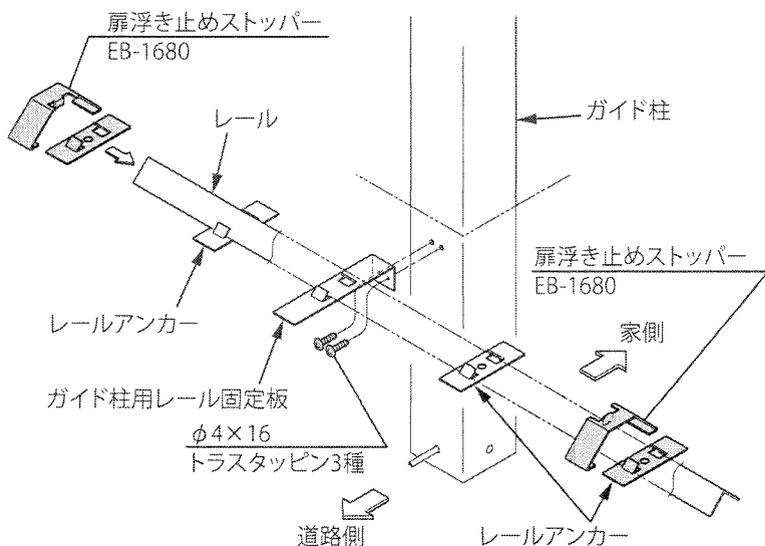
ME1744-029

両引き・開き戸付きの場合

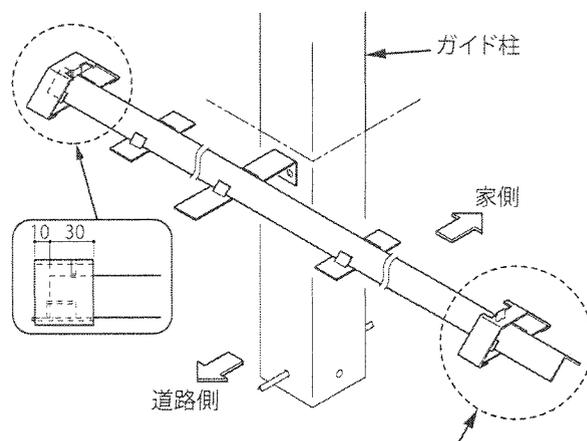


両引きの場合は、左右対称で取付けてください。

①下図を参照して、レールを柱に取付けてください。



●取付けイメージ図



引戸巾	レール残り寸法:C
1500	484
2020	444
2620	244
2940	204
3540	4

※レールの不要な部分は切断してください。
 ※扉浮き止めストッパーの取付位置は4~5ページの「納まり図」で確認してください。

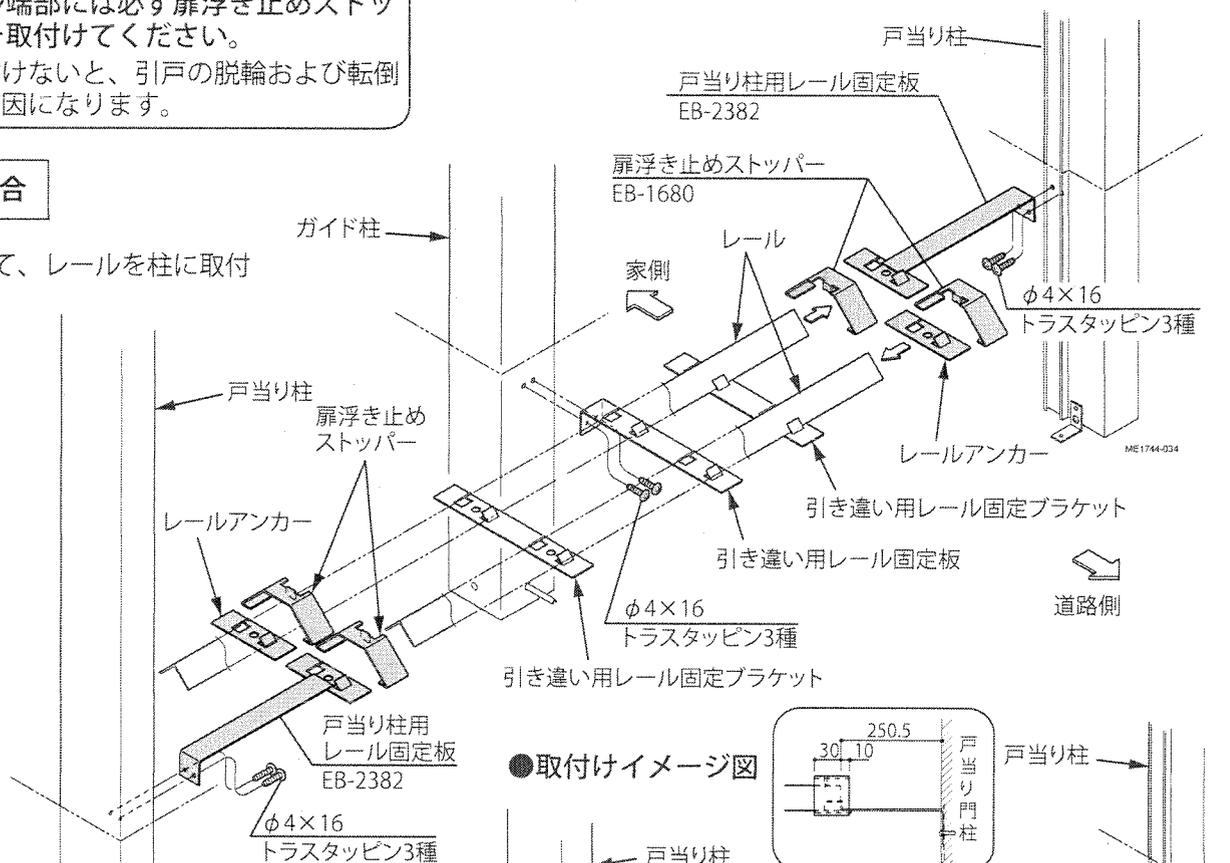
ME1744-030



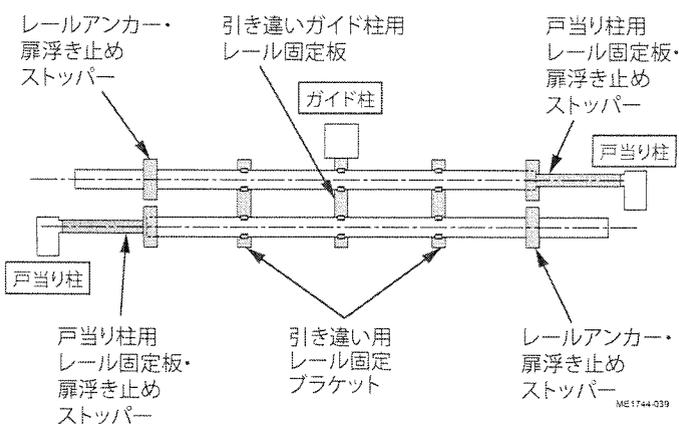
レール端部には必ず扉浮き止めストッパーを取付けてください。
 ※取付けないと、引戸の脱輪および転倒の原因になります。

引き違いの場合

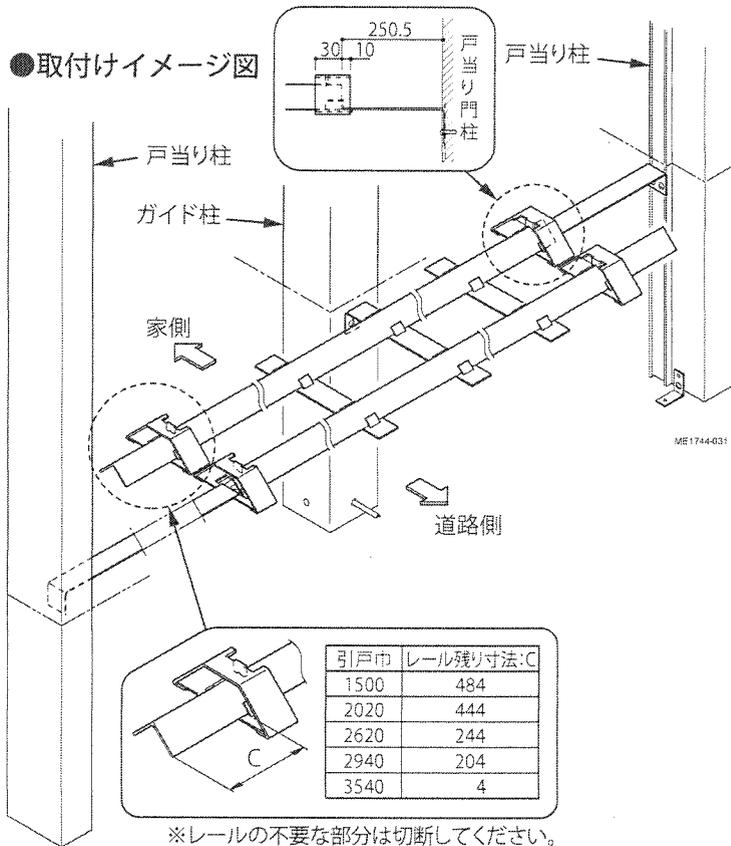
①下図を参照して、レールを柱に取付けてください。



●上から見る



●取付けイメージ図



引戸巾	レール残り寸法:C
1500	484
2020	444
2620	244
2940	204
3540	4

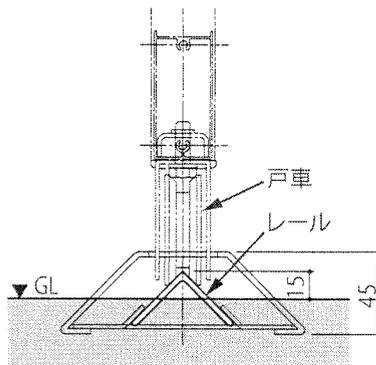
※レールの不要な部分は切断してください。
 ※扉浮き止めストッパーの取付位置は6ページの「納まり図」で確認してください。

3-4 柱・レールの埋込み

- ①水系または水準器で、水平レベルを合わせてください。
- ② GL面より 15mm レール頭が出るように、柱およびレールを埋込んでください。



柱の埋込み時には、「2. 柱の設置位置の確認」を参照し、寸法を正確に合わせてください。
 ※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。



4

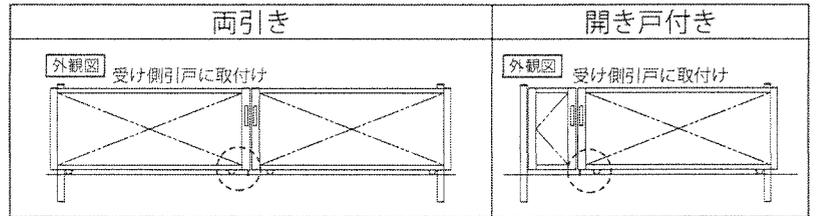
引戸部品の取付け

●「右引き(道路側より見て)」「外観図」のイラストで示しています。

4-1 落とし錠の取付け (※両引き・開き戸付きの場合)

①戸当りと同梱の「落とし錠セット」内の取付説明書 [ME-1156] を参照して、落とし錠を引戸(受け側)に取付けてください。

●落とし棒取付位置



参照説明書
・門扉落とし棒取付けマニュアル [ME-1156]

4-2 縦框キャップ(下部)の取付け

①引戸または開き戸に同梱の「縦框キャップセット」内の取付説明書 [ME-1600] を参照して、縦框キャップを引戸に取付けてください。

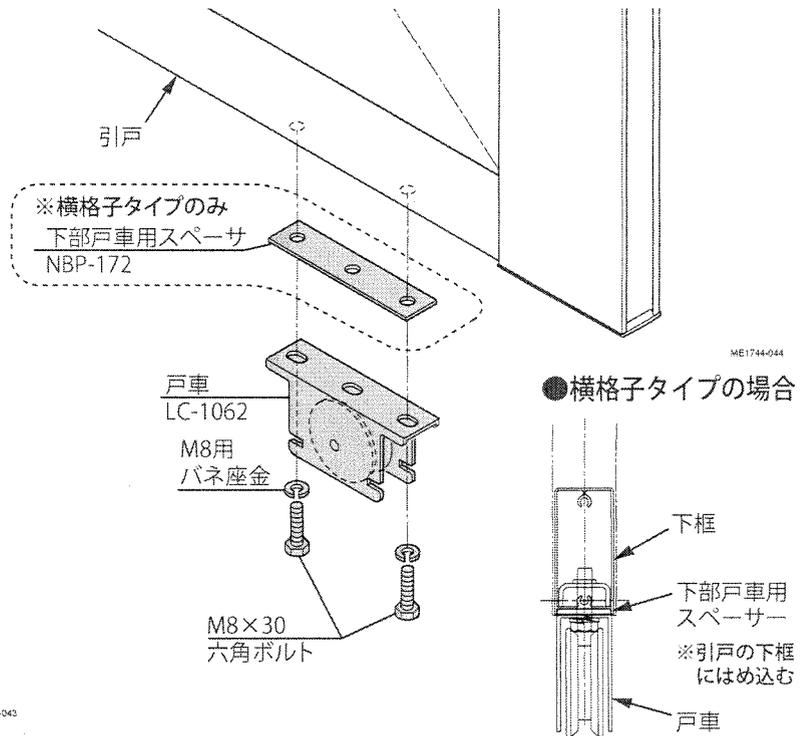
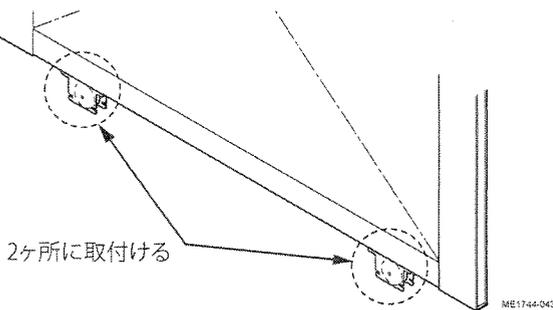
参照説明書
・形材門扉縦框キャップ取付説明書 [ME-1600]

4-3 戸車の取付け

①戸車を引戸に取付けてください。

横格子タイプの場合は、下部戸車用スペーサ(縦框キャップセットに同梱)を取付けてください。

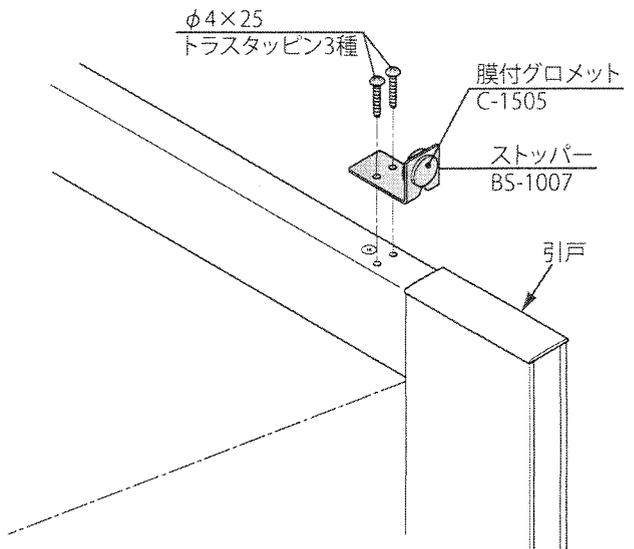
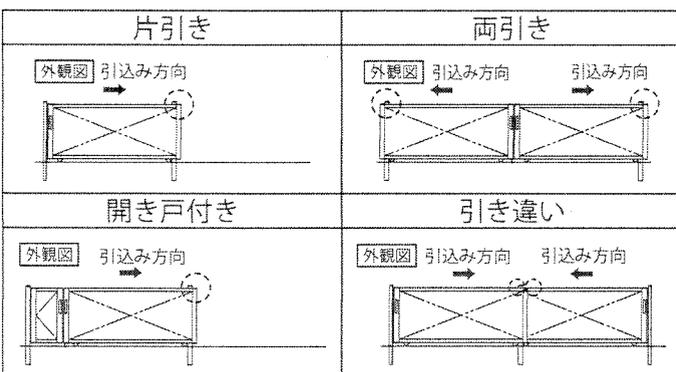
●取付位置



4-4 上枠ストッパーの取付け

①ストッパーを引戸(引き込み側)の上枠に取付けてください。

●ストッパー取付位置



5

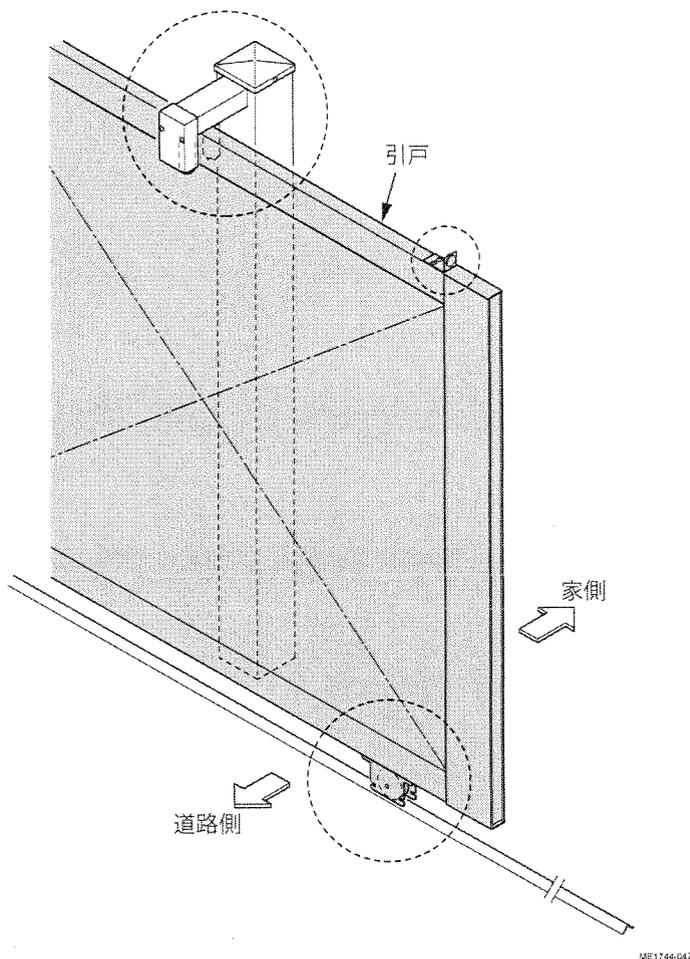
引戸・開き戸の設置

●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。

※「内観図」と指示のある場合を除きます。

5-1 引戸の設置

①引戸をガイドローラではさみ、戸車をレールに載せてください。

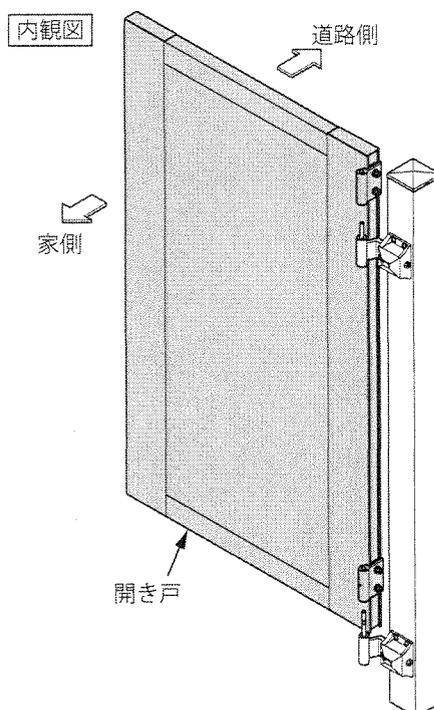


5-2 開き戸の設置（※開き戸付きの場合）

①吊元柱と同梱の「ヒンジセット」内の取付説明書 [ME-1324] を参照して、開き戸を吊元柱に吊込んでください。



参照説明書
・形材門扉用門柱 片開き用
[ME-1324]



※本図は、「内観図」を示しています。

6

引戸取付後の作業と調整

●「右引き（道路側より見て）」・「外観図」のイラストで示しています。

※「内観図」と指示のある場合を除きます。

6-1 戸当り・錠受けの取付け



引戸錠 HA 型の取付説明書 [ME-1746] を合わせて参照してください。

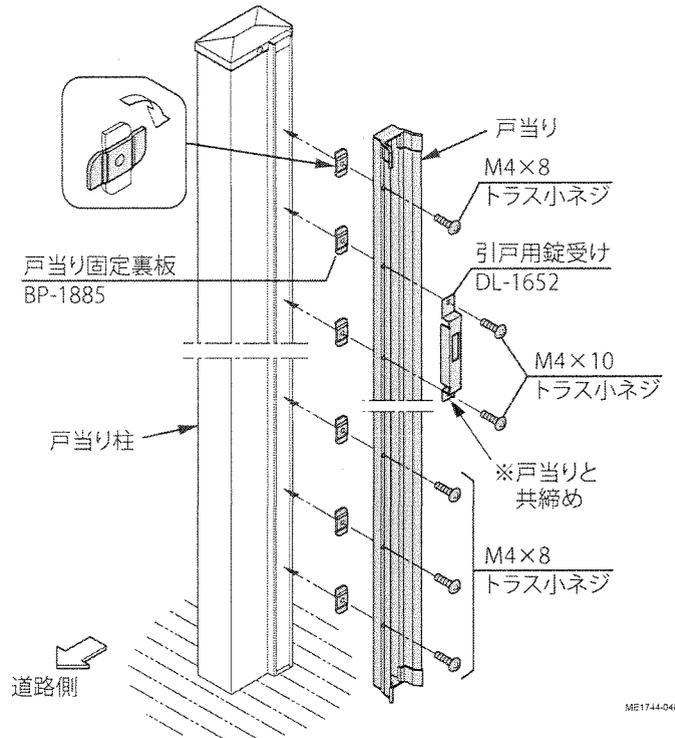
- ① 戸当りキャップを戸当りに取付けてください。
- ② 戸当りと錠受けを取付けてください。

●取付位置

片引き	両引き
<p>外観図 戸当り柱に取付け</p>	<p>外観図 受け側引戸に取付け</p> <p>受け側 掛け側</p>
<p>外観図 引戸に取付け</p> <p>開き戸 (掛け側) 引戸 (受け側)</p>	<p>外観図 戸当り柱に取付け 戸当り柱に取付け</p>

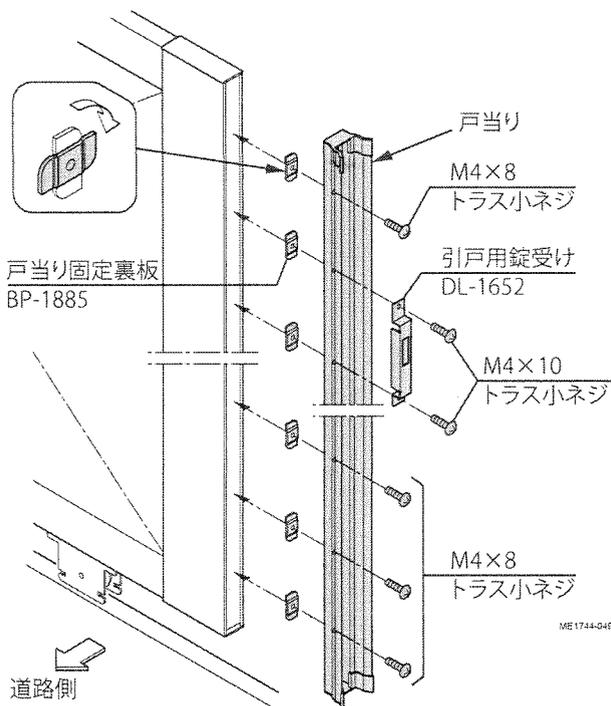
片引き・引き違い

※引き違いの場合は、左右対称に 2ヶ所取付けてください。



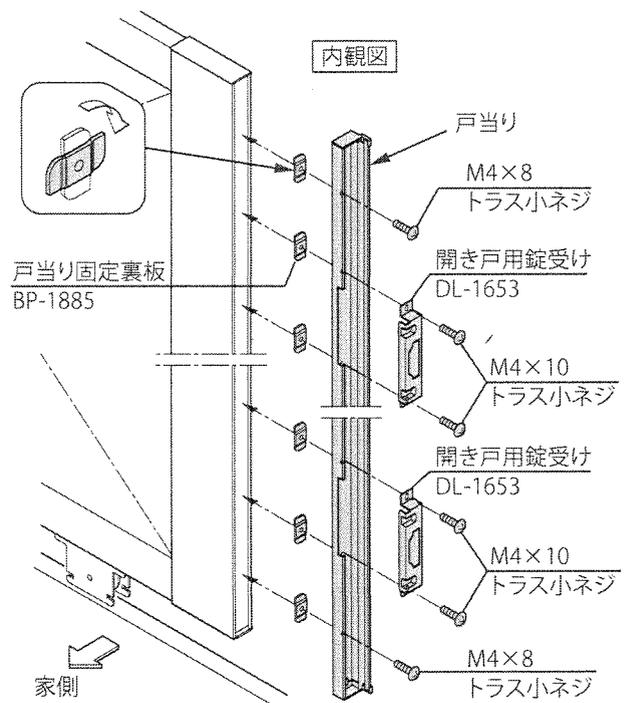
ME1744-048

両引き



ME1744-049

開き戸付き



ME1744-050

6-2 錠の取付け

- ① 「引戸錠 HA 型」と同梱の取付説明書 [ME-1746] を参照して、錠を取付けてください。



参照説明書
・引戸錠 HA 型 [ME-1746]

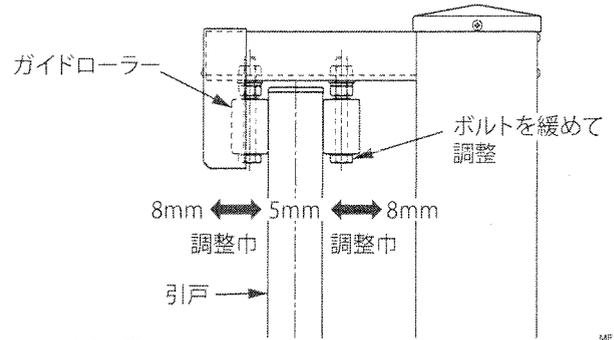
※本図は、「内観図」を示しています。

6-3 ガイドローラーの調整

- ①ガイドローラー下部のボルトを緩め、引戸とガイドローラーの位置を調整してください。



調整後、ボルトを確実に締め付け、固定してください。

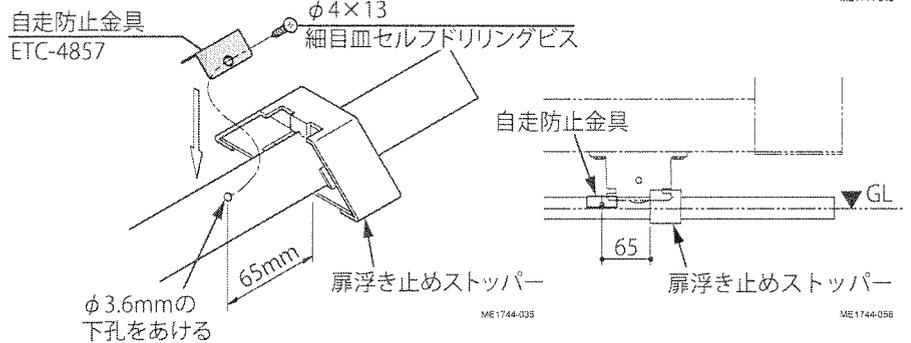


6-4 自走防止金具の取付け

- ①「納まり図」を参照し、取付位置を確認してください。
②自走防止金具をレールに取付けてください。



必ず所定の位置に自走防止金具を取付けてください。
※取付けないと、全開時に風による自走の原因となります。



6-5 戸車と扉浮き止めストッパーの調整

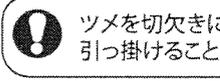
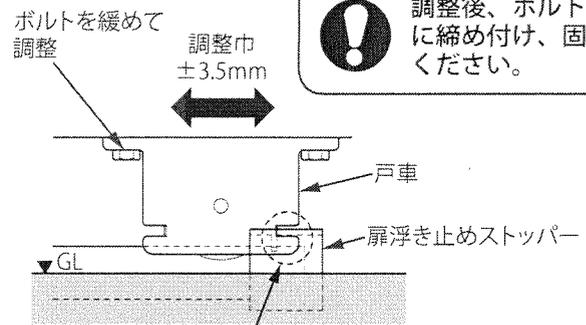
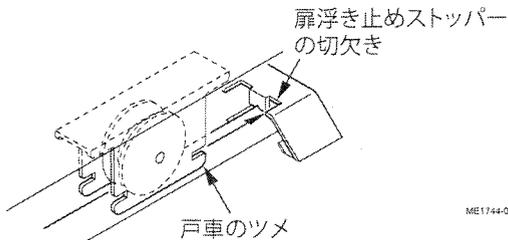
- ①戸車の調整ボルトを緩め、戸車の位置を調整してください。



戸車のツメを扉浮き止めストッパーの切欠きに引っ掛け、引戸が持ち上がらないことを確認してください。



調整後、ボルトを確実に締め付け、固定してください。



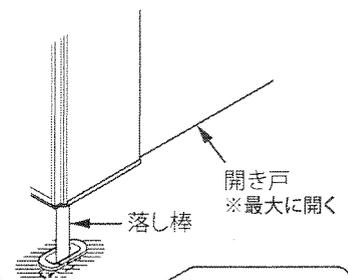
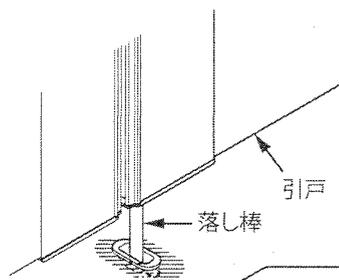
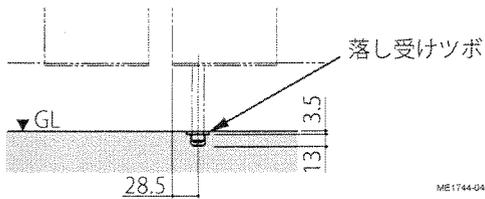
ツメを切欠きに引っ掛けること

6-6 落とし受けツボの埋込み (※両引き・開き戸付きの場合)

- ①引戸の落とし棒に合わせて、落とし受けツボを埋込んでください。

●引戸下部への埋込み

●開き戸下部への埋込み



開き戸付きの場合



開き戸付きの場合は、落とし受けツボを引戸下部と開き戸下部の2ヶ所に埋込んでください。

- ①開き戸を最大に開き、開き戸の落とし棒に合わせて、落とし受けツボ（開き戸に同梱）を埋込んでください。

■施工工事店様、販売店様へのごお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。